

共同経営・統合新病院整備事業【計画段階】

(1) 事業概要

<計画施設について>

人口減少や医療従事者不足、さらには新興感染症対策など地域医療を取り巻く課題や多様な医療ニーズなどに対応し、持続可能なそして強い医療提供体制を構築していくためには、県立中央病院及び青森市民病院の機能・資源を集約・充実していくことが重要と考え、新築整備する青森県と青森市の共同経営による統合病院である。

<整備方針>

両病院がそれぞれ担ってきた役割を継承し、高度急性期医療や専門医療に加え、圏域における中核病院として必要な医療を提供するための施設機能を整備する。

<計画建物の概要（規模・構造）>

統合新病院は、整備時期を見据え、両病院の患者見込数や人口減少等を踏まえた適切な病床利用率等を基に病床数を算定し、下記の規模を想定している。

また「基幹災害拠点病院」として、大地震発生後にも病院機能を維持するために必要なすべての施設が十分な耐震性能を有し、医療の継続・応急対応活動に対応できる施設とするため、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に基づき、下記のように耐震性能目標を設定する。

建物名	階数	延床面積	構造体	非構造部材	建築設備	構造
病院棟	地上9階程度	約72,600㎡	I類	A類	甲類	免震構造
緊急医療施設	地上2階程度	約1,000㎡	I類	A類	甲類	免震構造又は耐震構造
院内保育所	地上1階程度	約600㎡	II類	B類	乙類	耐震構造
来院者用立体駐車場	地上4階程度	約15,600㎡	I類	A類	甲類	耐震構造
職員用立体駐車場	地上6階程度	約23,400㎡				
ヘリポート・格納庫	職員用立体駐車場の屋上部に設置し、病院棟と渡り廊下で接続					

<整備スケジュール>

R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)
基本設計		実施設計		工事			開院 ● 移転準備

(2) 景観計画

<計画地周辺の状況>

計画地は、青森中心部から南におよそ1.9kmの地点に位置し、周辺には住宅のほか、シーナシーナ青森やドリームタウンALiといった商業施設、大野小学校や南中学校といった教育施設が点在する地区となっている。

<青森市景観計画で定める景観方針（計画地がどのような位置付けか）>

市街地景観地域（住宅地域）になっており、「青い空」のもと、身近な公園や緑地での植栽活動や敷地内緑化による緑花空間を形成し、街並みと調和のとれた「潤い・ゆとり」のある快適で心豊かな景観の形成に努めることとされている。

<今後計画を進める上で景観に関して配慮すること>

上記の景観方針に加え、周辺の景観との調和に配慮する。

(3) 位置図



(4) 敷地概要

<地名地番>

青森市大字浜田字豊田
123番地6、134番地5
青森市浜田三丁目2番地1、
102番地の一部

<敷地面積>

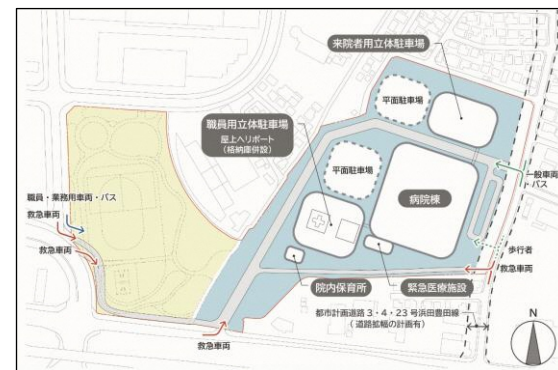
約88,500㎡

<用途・防火地域等>

都市計画区域内（市街化区域）
・準工業地域
・特別用途地区（大規模集客施設制限地区）
・浜田地区計画（壁面の位置の制限等）
・防火・準防火地域：指定なし
・都市計画公園（3・3・8号浜田中央公園）

<建ぺい率・容積率>

・準工業地域
建ぺい率：60%、容積率：200%



敷地利用計画図

（出典：『共同経営・統合新病院に係る基本計画』 p.14）

①から撮影した写真



②から撮影した写真



③から撮影した写真



④から撮影した写真



⑫から撮影した写真



⑪から撮影した写真



⑩から撮影した写真



⑨から撮影した写真



⑧から撮影した写真



⑦から撮影した写真



⑤から撮影した写真



⑥から撮影した写真

